

※本ガイドを財布等に入れ、常に携帯するようしてください。
※日頃から本ガイドを読み、平常時の防災意識を高めるよう心掛けてください。



もしもの時にあなたの身を守る

大地震 対応ガイド

学生用

国立大学法人
大分大学

災害が発生したら

▶身の安全を確保

- ・倒れやすいものから離れ、落下物に注意
- ・むやみに動かず安全を確認

▶正確な情報を収集する

- ・正確な情報収集に努め、なるべく集団で行動

▶避難の必要性を判断(+大学との連携)

- ・非常口やドア等を開けて避難口を確保
- ・エレベーターを使用せず階段で避難
- ・避難は徒歩で、荷物は最小限に
- ・負傷者の救護や初期消火に協力

▶安否確認

- ・家族との安否確認及び大学へ安否報告

◀ 地震発生直後は裏面へ

日頃の準備

大地震の発生は防ぐことはできなくても、適切な準備を行うことで被害を軽減することができます。
どのような備えが必要か日頃から考えておきましょう。

▶安全対策

転倒防止など身近なリスクの除去

▶食料、災害対策用の備蓄・グッズ

「緊急対策アイテム」の項参照

▶避難場所の確認

在校時、登下校時、時間外(地域の避難場所)

▶連絡手段・情報収集

伝言サービス、携帯電話の充電、家族・友人との連絡等連絡手段の多重化

本ガイドは次のURL等からもダウンロードできます。

パソコン https://www.oita-u.ac.jp/01oshirase/safetyguide_student.pdf

QRコード

スマートフォンのQRコードからアクセスしてください。



※災害発生時にはインターネットに接続できない場合がありますので、事前に本ガイドをお持ちのスマートフォンにダウンロードしておいてください。
※また、Yahoo等の防災情報アプリも事前にダウンロードしておきましょう。

緊急対策アイテム

☑日頃から準備・携帯しておくくと便利な物

- | | |
|--|--|
| <input type="checkbox"/> 現金(小銭も) | <input type="checkbox"/> 学生証(免許証なども) |
| <input type="checkbox"/> 健康保険証 | <input type="checkbox"/> アドレス帳
(家族、友人の連絡先を記入) |
| <input type="checkbox"/> タオル・ばんそこ・包帯 | <input type="checkbox"/> 雨具(カッパなど) |
| <input type="checkbox"/> 手回し充電ラジオ・ライト | <input type="checkbox"/> 携帯充電用USBケーブル |
| <input type="checkbox"/> ティッシュ・ウエットティッシュ | <input type="checkbox"/> ポリエチレン製ごみ袋 |
| <input type="checkbox"/> 非常用保温アルミシート | <input type="checkbox"/> チョコレート・あめなど |
| <input type="checkbox"/> 油性マジックペン | |

☑その他非常時に必要なアイテム

- | | |
|------------------------------------|-----------------------------------|
| <input type="checkbox"/> 貯金通帳 | <input type="checkbox"/> 印鑑 |
| <input type="checkbox"/> 常用薬とその処方箋 | <input type="checkbox"/> 上着・下着・靴下 |
| <input type="checkbox"/> 運動靴 | <input type="checkbox"/> リュック |
| <input type="checkbox"/> 卓上コンロ | <input type="checkbox"/> 懐中電灯 |
| <input type="checkbox"/> ひも・ロープ | <input type="checkbox"/> ろうそく |
| <input type="checkbox"/> 予備電池 | <input type="checkbox"/> 缶切り・栓抜き |
| <input type="checkbox"/> スリッパ | <input type="checkbox"/> 洗面用具 |
| <input type="checkbox"/> 使い捨てカイロ | <input type="checkbox"/> 非常用食料・水 |

※記入は油性のペンを使用してください。

緊急時パーソナルメモ

氏名	_____
学籍番号	_____
学部	_____
学科	_____
住所 (現住所)	_____
住所 (実家)	_____
電話番号 (自宅)	_____
生年月日	_____
持病	あり なし 常用薬 あり なし
アレルギー	あり なし

家族との待ち合わせ場所
家族と共有しておきましょう

※記入は油性のペンを使用してください。

大学への連絡方法

本学では「安否情報システム ANPIC」を導入しています。大地震が発生し、このシステムを活用した安否確認メールが届いた際は、連絡可能な状況になり次第、メールの指示に従って安否情報を報告してください。

大学のメールアドレス(@oita-u.ac.jp)及び各自で設定した携帯電話のメールアドレスに大学から安否確認のメールが届く。

メールの指示に従い、安否報告画面にアクセスし、安否状況を報告する。

(報告内容:本人の安否、現在地、コメント(任意))



スマートフォンユーザーの方は、ANPICアプリ(無料)をインストールすれば、安否確認の通知先を、アプリやLINEに設定することもできます。

安否確認メールが届かない場合は

seisiesi@oita-u.ac.jp 又は TEL:097-554-6123
(いずれも学生支援課)へ、本人の安否、現在地、コメント(任意)を報告してください。

家族への連絡方法

電話 で連絡・確認 NTT災害用伝言ダイヤル

伝言の録音	伝言の再生
1	171
2	1
3	2
市外局番+固定電話の番号 ※NTTが被災地と定めたエリア内	

※被災地内の固定電話のみに提供されるサービスです。
※被災地内の固定電話に対する録音・再生は携帯電話からでもご利用になります。
※被災地外から被災地内の固定電話への録音は規制される場合があります(再生は利用可能)。

体験利用 について

災害発生時に備えて利用方法を事前に覚えらるよう、体験利用提供日が設定されています。

体験利用提供日 毎月1日、15日(0:00~24:00)・正月三日(1月1日0:00~1月3日24:00)
防災週間(8月30日9:00~9月5日17:00)・防災とボランティア週間(1月15日9:00~1月21日17:00)

地震など大災害発生時に、安否確認などの電話が爆発的に増加し、つながりにくい状況になった場合、提供されるサービスです。

インターネット で連絡・確認 NTT災害用伝言版

1		https://www.web171.jp/ (web171)へアクセス
2	登録または確認したい電話番号を入力 ※数字のみ「-」なして入力	
伝言を登録する		伝言を確認する
3	登録の場合は「ひらがな氏名」「安否」「伝言」を入力して「伝言を登録する」をクリック	

詳しいサービス概要や、ご利用方法はNTTのホームページをご覧ください。その他携帯各社で提供されているサービスについては、各ホームページをご参照ください。

地震発生直後

揺れがおさまったら

落ち着いたら①

落ち着いたら②



今いる場所は
本当に安全？

YES その場所を動かない

NO 避難場所へ避難



家族との
安否確認

※裏面参照

自宅に
歩いて帰れる？

YES 自宅へ

NO 避難場所へ



大学へ
安否連絡

※裏面参照

POINT

大きな揺れを感じたら

- 講義中など建物内にいるとき
 - ・机の下にもぐる、バック等で頭を守る
 - ・窓ガラスのそばから離れる。
 - ・ドア付近の人はドアを開け出口を確保
- 屋外にいるとき
 - ・窓ガラスのある建物のそばを離れる
 - ・バック等で頭を守る
 - ・安全な場所にいる時はその場で座り込む
- 揺れがおさまるのを待つ
 - 安全を確保したら、揺れがおさまるまで待ちましょう。

POINT

揺れがおさまったら

- 冷静に、落ち着く
 - ・余震の可能性があるので、しばらく様子を見る
- 周囲の状況を確認
 - ・危険な場合は避難場所へ移動
- 初期消火
 - ・火災発生時は教職員に連絡し、安全な範囲で初期消火に協力
- 安全な場所へ避難
 - ・エレベーターは使わず階段で移動
 - ・車いすの学生がいたら、協力して避難場所への移動を支援
- 負傷者の救護
 - ・負傷者がいたら保健管理センターへ連絡

POINT

避難場所へ避難

巨野原キャンパス

- 避難場所 >>> 1. 陸上競技場
- 避難場所 >>> 2. ラグビー場
- 避難場所 >>> 3. 野球場

※上記避難場所への避難が困難な場合、生協裏山林側駐車場、いこいの広場等、広い場所に一時的に避難してください。

狭間キャンパス

- 避難場所 >>> 1. 臨床講義棟
- 避難場所 >>> 2. 体育館
- 避難場所 >>> 3. 各駐車場
- 避難場所 >>> 4. グラウンド

※上記避難場所への避難が困難な場合、附属病院外来ホール等広い場所に一時的に避難してください。
※負傷者がいた場合は、救命救急センターへ搬送してください。
※実習先の避難場所については、適宜確認しておいてください。

POINT

安否確認と行動

- 安全が確認されるまで学校にとどまる。
- 安否情報システムからメールが来ていたら回答する。

情報収集

下記サイトをブックマークし、速やかに情報収集できるようにしましょう。

大学から学生への緊急連絡

[大分大学公式HP]

<http://www.oita-u.ac.jp/>

[大分大学公式twitter]

<http://twitter.com/OITAuniversity>

災害情報

[九州防災ポータル]

http://www.qsr.mlit.go.jp/bousai_joho/kyusyubosai/

[気象庁]

<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

大学にいるとき

通学中

- 周囲の状況に注意し、身の安全の確保を最優先とする。
- 塀、電柱、自動販売機などから離れ、落下物にも注意する。
- 「帰宅するか」「登校するか」または、「最寄りでの安全な場所に避難するか」は自分で判断する。

- 被害状況を正しく把握する。
- 事前に家族と相談して決めた避難場所へ移動する。ただし、被災場所やその場の状況によっては安全を最優先し、別の避難場所へ移動する。
- 避難中は警察や消防の指示に従う。

家族の電話番号

memo

在宅時

基本的に対応は上記と同じです。
自宅周辺の避難場所については、各自治体のHPで確認しておきましょう。
地域が主催する防災訓練に参加することも心がけましょう。

指 定
避難場所

津 波
避難ビル